

令和5年度 上川町地域公共交通活性化協議会【第3回】 次 第

日時：令和6年1月17日（水）9：30～11：00

場所：上川町役場 大会議室

1. 開会

高野課長：これより第3回目の上川町地域公共交通活性化協議会はじめます。

事務局担当の地域魅力創造課の高野と申します。よろしくお願いします。

2. 会長（町長）あいさつ

町長：忙しい時期にお集まりいただきありがとうございます。

今年は辰年であるが、過去の辰年の動きを見ると共通して変化がある年である。年始めの地震があり特殊な地域であったため交通網の状況がそれぞれ対応、復旧にあたって障害になっている。交通の整備というのが平時における状況だけでなく、地域トラブルがあった際に公共交通網がどうあるべきか考えるきっかけとなった。今年は政治的にも経済的にも変化が予想される。

上川町においても4月に町長議会選挙がある。町にとっても変化の年となる。

本協議会も本日が3回目の会議。本町も地域公共交通計画の策定が必要となっており、今日初めて議案を提案させていただく。いきなり結論ではなく、持ち帰っていただき、1月いっぱい意見をいただきたいと思っている。2月下旬に第4回を開催し決定していきたい。限られた時間ではありますが積極的なご意見等頂きますようお願いいたします。

3. 議事

（1）上川町地域公共交通計画の第1章～第8章（案）について 資料①

→ 全員承認

- ・第1章：はじめに
- ・第2章：社会状況の変化
- ・第3章：上川町の現状
- ・第4章：上川町の地域公共交通の実態
- ・第5章：公共交通実態調査（OD調査）
- ・第6章：住民意識・意向調査
- ・第7章：上川町の地域公共交通の現状と課題
- ・第8章：上川町地域公共交通計画の目標と方針

太田：今回は1章から8章まで審議いただきたい。

太田：1章～4章説明

松村：5章～6章説明（調査時期7月中旬）

太田：7章～8章説明

～説明後～

町長：今の説明を聞いて、聞きたいこと、疑問、お気づきの点等ありますか。

高畠：資料 P59 の住民サポート交通導入について、どのようなシステムを前提に質問しているのか？

松村：住民の車両を使用し町内を限定に定義している。

町長：難しい問題、住民の意向に沿った動きができるのか。

高畠：免許返納の意向が高い傾向にあるが、運転手になることを躊躇していることも読み取れる。

また、比較的に町民の声として安い交通を求めていると思った。

町長：他はございますか。

中田：層雲峡間バスは、観光路線で重要であるがバス停の場所、JR との乗り継ぎの時間等の課題がわかりましたので、これからも上川町との関係を密にしながら路線の維持をしていきたい。

町長：ありがとうございます。

松村：観光事業者への聞き取りでは森のテラスバスタッチの名前について、上川駅の横にあることは海外で検索してもわからないと意見があった。

中田：バス内では「森のテラスバスタッチ（上川駅）」のような形で掲示している。

松村：地図を見ない限り web 検索で出てこない。

上川駅前森のテラスバスタッチなどに変えるとわかりやすくなるかもしれない。

町長：旭川上川・層雲峡間は観光利用が多い、その中で道北バスの現状はわからないわけではないし、可能な限り協力はしたい。北海道のもつ地域公共交通体系を考えていかなければいけない。旭川上川間のルートの見直しを行っている。ここに道が介入している。道の内容を聞くと少しでも経費を抑えるために、旭川層雲峡間のバスを当麻経由している。そのようなバスを誰が使うのか。観光面、住民の生活面の部分が一色淡になっている。道自体が実態を把握して介入してほしい。

高畠：資料 P50 の総移動時間が長いことについて、下校時間が3時間以上かかる生徒が3名いることに驚いた。解消してけるような方法はないか？

松村：（3名とも）旭川駅での待ち時間が長い。（1時間以上）

高野：以前までは18時20時22時の便があったが現在は18時半の列車を逃すと21時になる。2時間半待つことになる。部活動を行っている子は大変。

松村：生徒は現在JRの定期を購入しているが、バスとJRの共通定期があると時間が短くできるのでは。

高畠：四国ではそのような事例がある。

太田：沿線の自治体では同じ課題を持っていると思う。

高畠：共通定期だと運賃プールを作り運賃の分配が必要なので、現状難しいかと思

うが、要望としていただきます。ありがとうございます。
町長：持ち帰っていただき、意見をいただきたいと思います。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画事業及び地域公共交通調査等事業の事業評価について

→ 全員承認

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画事業評価 資料②
- ・地域公共交通調査等事業の事業評価 資料③

～太田主任資料基に説明～

(3) 今後のスケジュール

→ 全員承認

- ・1月下旬～2月中旬
目標と方針に基づいた各種施策の検討
- ・2月下旬：第4回上川町地域公共交通活性化協議会
各施策、評価指標と目標値の検討

～太田主任資料基に説明～

町長：質問等はございますか。

高畠：資料2について、かみくる事業概要について、課題の整理、分析。どのような方が利用しているのか把握しているのかなと思う。お願いがあり、1P 令和5年度事業概要について、「上川町コミュニティバス」と記載の横に運行名「かみくる」の記載をお願いしたい。コミュニティバスの課題として、利用者固定で新たな利用者がいない。別の自治体ではキャンペーン付きで住民の方に一旦使ってもらう。(温浴施設で例えると半額券など)お金を払ってまで使う価値があるのか判断していただく。年間の計画でやってみてもいいかも。

高野：普段平日のみの運行なので、土日のイベント時等で試験的に普段利用していない方への働きかけになるようなことを検討したい。

4. その他

町長：なにかご意見等ありますでしょうか？

特にないようでしたら終了させていただきます。

今後ともよろしくお願いいたします。

5. 閉会

高野課長：今回提示の計画案を帰ってからもう一度お読みいただき、ご意見を寄せていただけたらと思います。所定の意見用紙の様式を用意いたしますのでご連絡いただければと思います。様式については後ほどメールにて送付いたします。